

評価基準 A>3.5 B>3.0 C>2.5 D≤2.5

項目		評価の観点	評価	反省・改善点
1	確かな学力	○ 基礎的・基本的な知識や技能を身に付けた子供が育っている。	B	基礎・基本の定着のために、5・6年生の放課後補充学習を行った。今年度は個人の希望に応じて、基礎、応用のコースを設けた。一人一台端末の利用に慣れてきて、家庭に持ち帰って自主学習に利用する児童が増えた。
		○ 自ら学び、意欲的に学習する子供が育っている。	B	問題を読み取ったり、自分の思いを表現したりする力を育てる授業づくりに取り組んでいく。分かる喜びを実感できるような指導や家庭学習の確実な見取りを行っていく。
		○ 読書に親しむ子供が育っている。	C	今年度も朗読ボランティア「虹」の方による読み聞かせや、PTA研修委員会による読書会、図書委員による図書集会や6年生による読み聞かせなど、いろいろな取組ができた。家庭での読書習慣はまだ十分に身に付いていない児童が多い。
2	生徒指導 学校安全	○ 気持ちのよい挨拶や返事ができる子供が育っている。	B	児童会が中心になって挨拶運動に取り組む、通学班では高学年が率先して挨拶をし、低学年がそれに習っている雰囲気ができつつある。地域での挨拶はまだ不十分な児童も多いので、児童が主体的に挨拶ができるような指導や児童の取組の支援を行っていく。
		○ いじめ・不登校の未然防止、早期発見・早期対応に組織的に取り組んでいる。	A	児童主体の活動が活発になり、「元気いっぱい みんなで楽しく」のテーマの具現化ができた。今年度はいじめの認知件数は0であるが、些細なことでも、まずは声を掛けて多くの児童と会話するよう心掛けた。今後も教職員間の情報共有を大切にしたい。
		○ 計画的、組織的な安全教育を行っている。(防災、防犯、交通安全等)	A	形式的な訓練にならないように様々な場面を想定した訓練や指導に努めた。いざというときに自分で判断できる児童を育てるために見直しや工夫をしていく。

3	地域に根差した教育	○ 地域に根差した教育活動を積極的に行っている。	B	地域の方の協力もあり、総合的な学習の時間や生活科、社会科などで、積極的に地域の良さを学ぶ教育活動ができた。主体的に地域と関わる学習を増やしていきたい。
		○ 家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	B	今年度は家庭科の調理実習や裁縫、奉仕作業などに延べ29名の学校支援ボランティアの方に協力していただいた。学校支援ボランティア活用の教育効果は大きいので、見通しをもって計画的に活用していきたい。
		○ ふるさとを愛する子供が育っている。	A	アンケート結果によると、松野が好きと答えた児童は約92%であった。児童はふるさと松野を学ぶ学習に意欲的に取り組んでいる。郷土を愛し、感謝の心を持つ児童を育てていきたい。

<保護者・地域アンケートの意見>

【保護者】

- ・学校での出来事を楽しそうに話をしてくれています。「行きたくない。」ということもなく通ってくれて、日々、安心して送り出せています。いつもありがとうございます。
- ・登下校班の人数がだんだんと減少していることもあり、帰る時間が異なると一緒に下校する子供達もいなくお迎えが必要になることがあります。細かい下校時刻（学年別）のプリントが低学年までしか配られてないようなので、できれば高学年にも配っていただけるとありがたいです。→1月から全家庭に配るようにした。
- ・仕事が不定休のため、2か月程前までに学校行事等を教えてもらいたい。→学校便りで翌月の予定だけでなく、参観日等は2か月前には知らせる。
- ・子どもたちの頑張りを認めてくださり感謝しています。
- ・家庭ではもちろんですが、学校以外でも（休日も）しっかり挨拶が出来るように学校でも指導してもらえるとありがたいです。
- ・電話以外の手段で連絡がとれるようにしていただきたいです。LINEのような。

【地域】

- ・人と対話できる子どもに育ててください。
- ・近所に子供がいないのでなかなか学校の様子がわかりません。
- ・限られた時間、限られた人員の中で、校長先生を中心に、先生方よくやっただいただいていると思います。ありがとうございます。過重労働になりがちだと思います。どうぞ健康第一に。くれぐれも無理し過ぎられませんように。地域でできることがありましたら何でもお申し付けください。
- ・大きな声で朝の挨拶ができていて気持ちがいいです。
- ・地区の子供たちが地域の伝統行事等に積極的に参加していただき感謝しております。
- ・子どもたちが生き生きと学校で過ごせるようになってほしい。
- ・楽しく登校できるように生活全般を見てもらえたらと願います。
- ・駄目なことは駄目と諭すことは大事ですが、子どもたちの個性が伸ばせるような雰囲気が欲しいです。
- ・以前実施していた児童生徒をまもり育てる会がなくなり、保護者、先生方の意見を直接聞く機会がなくなり残念です。